

理想のモノクロプリントを求めて

私のアート作品のほとんどはモノクロプリントです。

その作品とともに世界のポートフォリオレビューに参加して多くのレビューワーにフィードバックをしてもらいながら作品作りを学んできました。

そこで必ず聞かれるのが、

「あなたの作品はなぜモノクロなのか？」

という質問です。

普通は「黒のトーンが美しいから」「歴史と伝統があるから」「感情的だから」などということだと思いますが、それだけでは作品に深みが生まれません。彼らの求めている答えは別にあります。また、多くの知識と経験を持つレビューワーは絶えず品質の高いプリントを求めています。

私はなぜこの作品を作るのか？ それにマッチする品質の高いモノクロプリントとは？

私はその答えを求め自分自身を掘り下げながらステイトメントを何度も書き直し、それと並行して古典技法のプラチナプリントからインクジェットプリントまで試行錯誤してきました。幸いにもそれらのプリントはイタリア、ロシア、アメリカのギャラリーやフォトフェスティバルで展示され、そして今秋ロシアの ERARTA 美術館で展示される予定です。今回のセミナーでは私のステイトメントづくりのアプローチを紹介すると同時に、プリントを実際に手に取って見ていただきたいと思っています。ご自身の作品作りの参考にしていただけならと思います。